

これまでの主な活動

1998年	<p>ひょうご日本語ネット創設</p> <p>創設は、次の5団体、(財)兵庫県国際交流協会、兵庫日本語ボランティアネットワーク、神戸日本語教育協議会、ひょうご日本語教師連絡会議、(財)アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部で、事務局を(財)兵庫県国際交流協会とした。</p> <p>以後、月に一度、(財)兵庫県国際交流協会でひょうご日本語ネット実務者会議を実施。</p>
1999年 3月	<p>ひょうご日本語ネット創設後の最初の取り組みとして、平成10年度日本語教育シンポジウム「ひょうごの日本語教育の輪」をひょうご国際プラザで開催し、県内における日本語教育の現状と課題を討議し、今後のひょうご日本語ネットの活動内容と必要性を確認し合った。</p> <p>基調講演「学習支援者としての日本語教師の在り方」 東京女子大学現代文化学部教授 西原鈴子氏</p> <p>分科会</p> <p>第1分科会「定住者のための日本語教育」 コーディネーター 姫路獨協大学国際学部日本語学科教授 古藤友子氏 レポーター 小川公子氏、斎藤裕子氏、藤川多津子氏</p> <p>第2分科会「児童生徒のための日本語教育」 コーディネーター 神戸市立港島小学校教諭 村山勇氏 レポーター 池上千恵子氏、酒井正人氏、長田寿和子氏 真鍋千佳子氏</p> <p>第3分科会「技術研修生のための日本語教育」 コーディネーター コミュニカ学院学院長 奥田純子氏 レポーター 足立眞理子氏、浜田満須美氏、藤本正美氏</p> <p>第4分科会「外国人学生のための日本語教育」 コーディネーター 神戸大学留学生センター教授 中西泰洋氏 レポーター 郭蓉氏、鮎良氏、三宅淑子氏</p>
2003年	<p>構成メンバーを中心に、以下の事業を運営・実施するための「行政・NPO協働事業推進委員会」立ち上げ</p> <p>事業名：兵庫県社会福祉協議会行政・NPO協働事業「外国から来た年少者への学習支援システムの創成」</p> <p>事業目的：県内および先進県の外国から来た子ども支援の現状を調査し、今後兵庫県でできることを模索し実行することを目的とする。</p> <p>協働団体：兵庫日本語ボランティアネットワーク（助成受託団体）、兵庫県教育委員会人権教育課、神戸市教育委員会総合教育センター国際教育推進室、兵庫県国際交流局国際政策課、神戸市文化観光局国際交流課、(財)兵庫県国際交流協会</p> <p>推進委員：兵庫日本語ボランティアネットワーク（2名）、ひょうご日本語ネット（2名）、兵庫県教育委員会人権教育課、神戸市文化観光局国際交流課、(財)兵庫県国際交流協会、神戸大学留学生センター、神戸市内小学校関係者（3名）、こうべ子どもにこにこ会</p> <p><活動内容（2003年4月～2006年3月の3年間）></p> <ul style="list-style-type: none">・外国人児童生徒の現状についての調査（NGO/NPO団体、県下小中学校等への聞き取り調査）・他府県で先進的な取り組みをしている団体との交流（東京都、愛知県、静岡県、他）・進路に関する多言語ガイドブック作成<ul style="list-style-type: none">・進路ガイダンスの実施（神戸市、姫路市）…2005年以降、毎年実施するようになった。

日本の教育制度や高校等への進学に関する情報提供をはじめ、教育相談、高校等へ進学したOB・OGの体験談等の実施

- ・外国人児童生徒への学習支援者養成のための研修会開催
- ・教材開発

用語カード：8言語対訳（日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、タガログ語、ベトナム語、韓国・朝鮮語）

http://www.hyogo-ip.or.jp/support/modtreepage01_7144/kyouzai/ 等

2006年

構成メンバーを中心に、以下の事業を運営・実施するための「地域日本語教育連携推進活動検討委員会」立ち上げ

事業名：文化庁 平成18年度地域日本語教育支援事業～連携推進活動～「地域に根差した日本語教育支援活動を目指して」

事業目的：県内の日本語教育（学習支援）団体が行政機関、NPO生活支援団体との連携を強化するため県内の日本語学習を必要とする人が地域社会の中で安心して生活できる要件、とりわけ日本語学習支援システム、生活支援システムを検討し、再構築していくことを目的とする。

事業を実施していくための委員会構成メンバー：

兵庫日本語ボランティアネットワーク（助成受託団体）、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、兵庫県産業労働部国際政策課、神戸市文化観光局国際交流課、(財)兵庫県国際交流協会、(財)アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部、神戸大学留学生センター、神戸市内小学校関係者（1名）、こうべ子どもにこにこ会、ひょうご日本語ネット構成メンバー

<活動内容>

- ・月一回の検討委員会において、それぞれの機関、団体の実践報告とシンポジウム実施のため準備と内容の検討

- ・2007年2月 シンポジウム「地域に根ざした日本語教育支援活動を目指して」を実施

総合司会：コミュニカ学院学院長 奥田純子氏

基調報告「外国人県民の現状と課題」

兵庫県産業労働部国際局国際政策課課長補佐 由田克彦氏

「子ども多文化共生教育に関わり現状と課題」

子ども多文化共生センター指導主事 梶美由紀氏

分科会

第1分科会「地域住民活動と日本語教育支援の連動」

- ① 姫路市営勅旨団地における取組み

姫路市営勅旨団地自治会長 三田政一氏

- ② 神戸市東灘区本庄における取組み

神戸市東灘区本庄ふれあいのまちづくり協議会会長

こうべ子どもにこにこ会運営委員 佐野末夫氏

第2分科会「外国にルーツをもつ子どもたちへの支援」

- ① 地域と学校との連携の現状1「本山第二小学校の実践」

神戸市立本山第二小学校教諭 村山勇氏

- ② 地域と学校との連携の現状2「神戸生田中学の実践」

神戸市立神戸生田中学校教諭 榎木一彦氏

第3分科会「地域における日本語教育支援活動」

- ① 地域に根ざした日本語教育支援活動について

元(財)姫路市国際交流協会 西村真由子氏

- ② 研修生の地域活動への参画

柏原日本語教室「こんにちは」代表 時里孝子氏

総括：神戸大学留学生センター教授 水野マリ子氏

2007年 文化庁 平成19年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～退職教員対象日本語教育指導者養成講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画

2008年 文化庁 平成20年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～退職教員対象日本語教育指導者養成講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画

2008年 構成メンバーを中心に、以下の事業を運営・実施するための「行政・NPO協働事業推進委員会」「地域日本語教育連携推進活動検討委員会」立ち上げ

事業名：ひょうごボランタリー基金行政・NPO協働事業助成「兵庫県内の企業で働く外国人労働者およびその家族への日本語学習支援システムの構築」
(以下行政・NPO協働事業)

事業目的：「兵庫県内の企業等で働く外国人労働者およびその家族への日本語学習支援システムおよび生活支援システムの構築」を目指す。

協働団体：兵庫日本語ボランティアネットワーク（助成受託団体）、兵庫県国際交流局国際政策課、(財)兵庫県国際交流協会、阪神金属協同組合

推進委員：兵庫日本語ボランティアネットワーク（2名）、ひょうご日本語ネット（2名）、兵庫県教育委員会人権教育課、神戸市文化観光局国際交流課、(財)兵庫県国際交流協会、神戸大学留学生センター、神戸市内小学校関係者（3名）、こうべ子どもにこにこ会

<活動内容（2008年4月～2011年3月の3年間）>

- ・2008年 行政・NPO協働事業1年次事業として
県内各日本語学習支援団体を対象に外国人就労状況にかかる調査を実施
- ・2009年 行政・NPO協働事業2年次事業として
シンポジウム「日本語学習支援のための地域・企業との連携の現状と展望」を実施

基調講演「浜松における地域・企業の日本語学習支援実践について」

講師：浜松国際交流協会 堀 永乃氏

パネルディスカッション「地域・企業連携による日本語教育システムの創生」

コーディネーター コミュニカ学院学院長 奥田純子氏

パネラー 阪神金属協働組合 勝田由美子氏

南あわじ市教育委員会人権教育課長 橋本浩嗣氏

にほんごさーくる淡路代表 藤井晶子氏

ひめじベトナム人支援懇話会 金川香雪氏

総括：神戸大学留学生センター教授 水野マリ子氏

- ・2010年 行政・NPO協働事業3年次事業として
シンポジウム「日本語学習支援のための地域・企業との連携の現状と展望」を実施

基調講演「国内の地域・企業の日本語学習支援の実情と課題」

講師：(財)海外技術者研修協会・AOTS日本語教育センター長
春原憲一郎氏

実践報告「地域・企業連携による日本語学習支援システムの実践」

報告：兵庫日本語ボランティアネットワーク明石教室 稲崎司氏

兵庫日本語ボランティアネットワーク学習支援派遣員

久保公二氏、吉田不二彦氏、澤田友二氏
総括：コミュニカ学院学院長 奥田純子氏

- 2009年 文化庁 平成21年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～退職教員対象日本語教育指導者養成講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2009年 文化庁 平成21年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～日本語学習支援者コーディネーターおよびその家族への日本語学習支援システムの構築」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2010年 文化庁 平成22年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～退職教員対象日本語教育指導者養成講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2010年 文化庁 平成22年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～日本語支援者ブラッシュアップ講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2011年 文化庁 平成23年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～退職教員対象日本語教育指導者養成講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2011年 文化庁 平成23年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～日本語支援者ブラッシュアップ講座」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2011年 文化庁 平成23年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～日本語教室運営」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2011年 ひょうご日本語ネット講演会を実施
第1回「本庄小学校における国際理解教室、地域との連携」
講師：神戸市立本庄小学校教諭 三島絵里氏
第2回「改正入管法勉強会」
講師：神戸国際行政書士事務所代表 大串博行氏
- 2012年 文化庁 平成24年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～プログラムA」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委員として参画
- 2012年 ひょうご日本語ネット講演会を実施
第1回「改正入管法施行後の実態」
講師 神戸国際行政書士事務所代表 大串博行氏
第2回「市町を超えた地域連携『たじま多文化共生ネットワーク』の活動」
講師 たじま多文化共生ネットワーク発起人 岸田尚子氏、小田垣真弓氏
- 2013年 文化庁 平成25年度「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業～プログラムA」を兵庫日本語ボランティアネットワークが受託、ひょうご日本語ネットの構成員が運営委

員として参画

2013年 ひょうご日本語ネット講演会を実施

第1回「外国につながる子どもたちの現状と課題～コミュニティに根ざしたサポートを通して～」

講師：チュンタムしんながた代表 北山夏季氏

第2回「自律学習を意識した教室活動について」

講師：兵庫日本語ボランティアネットワーク 尾形文氏

第3回「子どもたちに母語、母文化を伝えるために～ベトナム夢KOBEOの活動～」

講師：ベトナム夢KOBEO代表 ズオン・ゴック・ディエップ氏

2013年 平成25年度ひょうごボランティア基金行政・NPO協働事業助成事業（2013年度1年間）に取り組む。

事業名：「兵庫県内で地域日本語教室に通えない日本語学習希望者のための自主・遠隔学習支援システムの構築」

事業目的：兵庫県全域に地域日本語教室ができたが、仕事や家庭の事情で通えない人たちが自宅等で学習するための支援システムを作ることとする。

協働団体：兵庫日本語ボランティアネットワーク（助成受託団体）、兵庫県国際交流局国際政策課、（公財）兵庫県国際交流協会、阪神金属協同組合

活動内容：調査活動（筑波大学、名古屋大学などの遠隔学習システムを見学）

2014年 ひょうご日本語ネットパネルディスカッションを実施

「母語学習支援者の声を聞く～地域の外国人に対する母語教育の現状」

ゲストスピーカー：関西ブラジル人コミュニティ理事長 松原マリナ氏

ベトナム夢KOBEO代表 ズオン・ゴック・ディエップ氏

ひょうごラテンコミュニティ副代表 藤戸直美氏

2015年 ひょうご日本語ネット講演会を実施

「外国人とのコミュニケーションのための『やさしい日本語』」

講師：神戸大学名誉教授 水野マリ子氏

主催：神戸YWCA学院日本語コース 共催：ひょうご日本語ネット

※平成27年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

2015年 学校及び日本語指導ボランティアに対する「外国人児童生徒の指導」にかかわるヒアリング調査を実施

2016年 『日本語指導ボランティアマニュアル』を作成

県内小中学校、日本語指導に携わるボランティア支援者及び関係団体に配布するとともに（公財）兵庫県国際交流協会ホームページにPDFデータを公開

2016年 学校における『日本語指導ボランティアマニュアル』説明会を実施

①作成に至った経緯 神戸大学 名誉教授 水野マリ子氏

②マニュアルのポイント・解説 神戸大学国際教育総合センター准教授 齊藤美穂氏

③質疑応答 小学校日本語ボランティア 大和田 邦子氏

神戸市教育委員会人権教育課 指導主事 姉川洋一氏

兵庫県教育委員会子ども多文化共生センター 堀内みちこ氏
 神戸大学国際教育総合センター 准教授 齊藤美穂氏
 ④外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」ミニ講座※
 講師：神戸YWCA 学院日本語コース 主任講師 福井 武司氏
 ※平成 28 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

- 2017年 県内の外国人相談窓口について情報を整理
 講座・イベント等に関する情報共有シートをひょうご日本語ネット内で試行
- 2018年 ひょうご日本語ネット研修会を実施（HIAと共催）
 タイトル：「在住外国人への日本語教育をめぐる動向」
 講 師：増田麻美子氏（文化庁文化語課日本語教育専門職）
 講座・イベント等に関する情報共有シートについて、ひょうご日本語ネット内で使用を継
- 2019年 ひょうご日本語ネット勉強会を実施
 タイトル：「困り感のある子どもの理解と支援のポイント」
 講 師：神戸市教育委員会 寺沢光明氏（実務者会議メンバー）
 講座・イベント等に関する情報共有シートについて、ひょうご日本語ネット内で使用継続
 を検討
- 2020年 新型コロナウイルスまん延の影響により、全12回中10回オンラインで会議を実施
 オンラインを活用した支援方法やコロナ禍の外国人県民の状況などを共有
 教材使用における著作権の留意点、外国人県民に対する情報伝達の方法について情報を
 共有
 講座・イベント等に関する情報共有シートについてひょうご日本語ネット内で使用を継続
- 2021年 新型コロナウイルスまん延の影響により、全12回中10回をオンラインで、2回をハイブリ
 ッド形式で会議を実施
 オンラインを活用した支援方法やコロナ禍の外国人県民の状況などを共有
 講座・イベント等に関する情報共有シートについて、ひょうご日本語ネット内で使用を継
 続
- 2022年 構成団体の追加に伴い、規約を改定
 会議運営方法を変更し、ハイブリッド形式で2か月に1回、年に6回の開催
 県下の外国人住民の状況や講座、イベント情報を共有

2023年	ハイブリッド形式で2か月に1回、年に6回の開催 県下の外国人住民の状況や講座、イベント情報を共有
2024年	構成団体の追加に伴い、規約を改定 ハイブリッド形式で2か月に1回、年に6回の開催 県下の外国人住民の状況や講座、イベント情報を共有
2025年	構成団体の脱退に伴い、規約を改定 ハイブリッド形式で2か月に1回、年に6回の開催 県下の外国人住民の状況や講座、イベント情報を共有